

平成18年度第2回近畿ブロッククラブ育成推進協議会 開催報告

クラブ創設支援近畿ネットワーク！

「百聞は一見にしかず」。第2回近畿ブロッククラブ育成推進協議会は、オプション事業として「先進クラブ現地視察」を追加し、“クラブ創設に向けての問題や課題を探ろう”“解決策となるヒントを持ち帰ろう”をスローガンに、情報の共有化と近畿クラブ間ネットワークの推進を目指し、12月2日(土)、3日(日)の2日間、奈良市を会場に開催しました。

= オプション事業：先進クラブ視察 =

平城ニュータウンスポーツ協会を視察

オプション事業として実施した「先進クラブ現地視察」は、12月2日(土)午後1時から、平城ニュータウンスポーツ協会の視察を行いました。

福井勝治会長をはじめ役員の方々から設立に至るまでの経過や運営組織、役員構成、活動内容、予算規模などの説明を受け、その後、質疑応答するカタチで進めました。

参加者一人ずつの自己紹介の後、クラブ育成で悩んでいることや問題・課題となっていることを発言していただき、人口規模やエリア、推進母体などが違う中で、共通する解決策(ヒント)を導くための議論を繰り広げました。

視察を終えて「自分たちの住んでいる地域は自分たちの手で」という平城ニュータウンスポーツ協会の皆さんの強い自治意識・帰属意識の高さと熱意を感じるとともに、スポーツを「すること」「支えること」を自らも楽しみ、やりがいとして取り組んでおられることが印象的でした。

第2回近畿ブロッククラブ育成推進協議会

開催日：12月3日(日)午後1時～

会場：春日野荘(奈良市)

近畿各府県から33名の指定クラブ代表と府県体育協会クラブ育成アドバイザーに、奈良県内の設立済クラブから助言者として加わっていただき開催しました。

開会式では、近畿ブロック地方企画班の松田雅彦班長が「近畿各地から同じ目的を持っておられる皆さんが集まれ、設立された地元奈良県の設立済みの先進クラブから助言者として6名の皆さんに同席していただいています。今日の協議会で多くの情報を得ていただきたい。そして、人と人とのネットワークもさらに広がるよう期待します」と挨拶しました。



テーマ別グループミーティング (少人数のグループで話し合い)

テーマ別グループミーティングは、「既存団体・組織等との連携」「クラブの事業」「設立へ向けた道程表」の3つのテーマについて、6グループに分かれて行いました。

各グループには、先進(設立済)クラブから助言者6名が加わり、クラブ創設のノウハウや設立後の課題も話題にしながら、体験に伴う事例などを助言していただきました。

地域環境や立地条件、進捗状況など、さまざまな育成指定クラブでしたが、非常に熱心に話し合

いが持たれ、多くのヒントを得る有意義な時間であったようでした。
グループごとの発表内容や要旨は次のとおりです。

Aグループ：テーマ「運営組織のあり方～人材の確保、既存団体・組織との連携など～」

- 共通する課題・・・ クラブハウス・自主財源・人材の確保・住民への認知
総合型クラブとして、どのようなモデルがあるのか
- 意見・アドバイス ・体協の協力を得ることで、競技団体との連携がスムーズにいく。
・単一種目でも、多世代・多志向を取り込めば総合型クラブではないか。
・ステレオタイプのクラブイメージを広めることには、弊害がある。地域独自の発展形態が合ってもよいのでは。

Bグループ：テーマ「運営組織のあり方～人材の確保、既存団体・組織との連携など～」

- 共通する課題・・・ 人材の確保
・体指を如何に活用するか・・・
・適任者を探す方策は・・・
・実技指導者を捜す方法は・・・
- 既存団体との連携
- 意見・アドバイス ・団塊の世代、リタイヤした人の活用が大切
・地域のネットワークを活用する
・継続性を持つためにも会議運営も大事な要因

Cグループ：テーマ「クラブの事業について」

- 共通する課題・・・ 参加者が集まらない。（山間部の会場では、移動手段に困る。また、少子高齢化が進んでいる。既存の団体が地域に多数ある。）
行政との関係
会費の設定（どの程度の価格設定が妥当なのか）
- 意見・アドバイス ・参加者が多く集まるイベントや教室の開催を計画してみる。
・クラブとして遊びという開き直りも大切、色んな種目を楽しむことが総合型の本分。
・ニーズ調査が必要、比較的人気の高い事業はファミリーバトミントン、サッカー、ウォーキング



Dグループ：テーマ「設立へ向けた道程～会員募集のあり方、会費設定、総会のあり方など～」

- 共通する課題・・・ 事務局体制と事務処理
行政・体指との関わり
既存団体との関わり
アンケート調査（ニーズ調査）
人材確保
魅力あるプログラムについて
- 意見・アドバイス ・事務処理については、1年目は大変であるが、2年目は要領を得たことで比較的容易に進行している。
・行政との関わりについては、付かず離れずの距離感とサポートが必要。
・調査については、特に回収率を高めるため調査員による配布・回収事例を紹介。

Eグループ：テーマ「設立へ向けた道程～会員募集のあり方、会費設定、総会のあり方など～」

共通する課題・・・ 行政や既存団体からの金銭支援は難しいので、人的な支援を受ける。
会費の設定など

意見・アドバイス ・子どもの会費を抑え、成人の会費から補う循環型を検討している。
・老人大学や体指との協力を得て、指導者スタッフを確保。

Fグループ：テーマ「設立へ向けた道程～会員募集のあり方、会費設定、総会のあり方など～」

共通する課題・・・ 施設使用料
スポーツ安全保険料

意見・アドバイス ・公共施設は減免制度を適用している。
・保険の有効期間を説明し、まとめて振り込む、手数料は必要なし。



～ティータイム～

ご当地の特産品（お菓子）などを持ち寄り、指定クラブ間の交流を深め中央・地方企画班員、府県体協アドバイザー、助言者（設立済クラブ）など、穏やかな時間と雰囲気の中で話し合いが進められました。

～グループ別フリーディスカッション～（グループごとの記録より）

Aグループ

総合型クラブのモデルとは・・・

単位種目でも、多世代・多種目であれば立派な総合型クラブ。ステレオタイプ的な形を広めることに弊害があり、地域独自の発展形態が必要ではないか。

20～40代の参加を得るには、保育機能を考慮した環境整備が必要。また、中高年層については、介護予防のための継続したプログラムの検討が必要ではないか。

Bグループ

クラブに関わる人材や既存組織については、スポーツ関係者に呼びかけても限界がある。地域のボランティア組織を有効活用し、地域活性化のための協働事業として広く関わりを持つことが必要。また、地元高校生や大学との連携によるボランティアスタッフを育成することは、クラブの将来像を拡充するうえでも必要。



Cグループ

指定管理者制度については、クラブの将来・継続的な運営を考えると獲得することもクラブの目標として捕らえるべき。また、スポーツ教室の参加者のマナーやモラルについては、ケガ・事故等のリスクを考えると今後、親にも参画していただける教室づくりを検討していく必要

がある。

Dグループ

住民への啓発については、地元新聞の取材を積極的に進めPRする。また、チラシの配布については、金銭的な問題もあるが、投資的な観点で新聞折り込みや自治会による全世帯配布が効果的。

Eグループ

クラブの会員募集チラシの配布については、行政支援の一環として全世帯配布を協力依頼する。(行政は全世帯配布が義務)

会費については、大人対象事業の利益を子どもの事業に反映する循環型も地域の理解を得られやすい。また、キックバック制も魅力づくりとして検討していく必要がある。

クラブスタッフは、やはりクラブの宝。地域を思う人たちの集まり(クラブ組織)には、活力がある。

Fグループ

会員募集については、新聞折り込み、地元ケーブルテレビの活用、小学校門前でのビラ配りなど様々な活動をしているが、地域のイベントや運動会などで受付窓口やクラブ入会の相談窓口を置き、広く活動することが必要。

～総括・まとめ～ 先進クラブからのメッセージ

総括(まとめ)は、本日の推進協議会にお招きし、各グループに助言者として入っていただいた先進クラブの皆さんから、クラブ創設や育成に向けた体験をふまえたメッセージやエールが送られました。

…… メッセージ ……

中西康代さん(芝運動公園スポーツクラブ事務局長)

「桜井市体育協会の再構築として、クラブ育成に取り組む。これまで取り組んでいない世代層をターゲットに活動の場を提供、地域の体育協会として再スタートした。」滋賀の大津市の事例にもあるように、今ある組織や既存団体の見直しや再構築としてのクラブ育成も必要と思われる。

松原政則さん(吉野スポーツクラブ)

「地域を思うスタッフが集まり、クラブを運営している。クラブスタッフは地域の宝物。クラブ理念に共感する組織づくりが必要。」

藤本正義さん(吉野スポーツクラブマネジャー)

「まず、地域住民への説明が大変だがクラブの育成を考えると重要な要素。設立後のクラブ運営の方向性は、会員を観ていると見えてくるものがある。会員とのコミュニケーションが必要。」

南浦博さん(前裁校区ゆうゆうクラブ事務局長)

「公民館の活動を主体的に、地域スポーツのあり方について検討し行政との連携により具体的な事業に展開したゆうゆうクラブですが、住民に一番身近な組織(施設)からのクラブ育成は、思ったよりスムーズに推進できた。」

最後に、「総括・まとめ」を進行した松永敬子さん(中央企画班員)が、「育成中のクラブには先進の事例が多くある。先進クラブには事例がない。皆さん、このような機会・ネットワークを十分に活用され、地域に必要とされる総合型クラブを設立していきましょう。」と締め括った。

得たヒントを、ぜひ役立ててほしい! 地方企画班員 福井さんが閉会挨拶

閉会式では、地方企画班の福井勝治さんが「本日の協議会で色々なヒントやクラブ育成に向けた数々の資料を提供いただいたことと思います。ぜひ、地域に持ち帰り、クラブ設立に役立ててほしいと思います。」と挨拶し、第2回近畿ブロッククラブ育成推進協議会を終了しました。

(報告:近畿ブロック地方企画班員 中松 秀夫)